







患者氏名： _____ 様 入院病棟： _____ 病棟 主治医： _____ 受け持ち看護師： _____ No1/1

日付	/	
イベント	入院日	退院日
目標 <small>毎日看護師と評価します</small>	<input type="checkbox"/> 全身状態に問題がない <input type="checkbox"/> アナフィラキシー症状・所見がない（呼吸困難がない） <input type="checkbox"/> 感染徴候がない（38度以上の発熱がない） <input type="checkbox"/> 副作用症状について理解できる	退院基準： <input type="checkbox"/> 副作用なく治療が終了できる 
内服 注射	輸液ポンプを使用し、インフリキシマブの点滴を行います。 	
検査	・入院後、採血があります。 ・胸部レントゲンをとる場合があります。 	
治療 処置	・初回と2回目は心電図を装着します。点滴開始時と15分後、速度アップ時・速度アップ15分後・30分後・終了時に血圧、脈拍、体温測定を行います。 ・3回目以降は点滴開始時と終了時に血圧、脈拍、体温測定を行います。 	朝体温測定を行います。 
安静 活動	点滴中は病棟内でお過ごしください。	院内自由です。 
説明 指導	<ul style="list-style-type: none"> 以下の場合にはすぐにナースコールを押してください。 <ul style="list-style-type: none"> 副作用症状が現れた時（発疹、かゆみ、息苦しさ、吐き気など） 点滴刺入部の赤み、痛み、腫れがある時 輸液ポンプのアラームがなった時 診察券、退院薬をお渡しします。 次回入院日をお伝えします。 	【退院指導】 <ul style="list-style-type: none"> 処方された薬は正しく飲みましょう。 感染予防として、外出したら手洗い・うがいをしましょう。また、ひとごみに行くときはマスクを着用しましょう。風邪の症状を自覚したら、熱などを測り早めに受診して治療を受けて下さい。高熱や震えが出たり、咳や息切れ、痰の多さを自覚したりする場合は肺炎の可能性があるので入院日を待たずにすぐに受診して下さい。 次のインフリキシマブの予定日の1週間前くらいから関節痛が出たり熱などが出た場合は、主治医にインフリキシマブの容量や投与間隔をご相談下さい。
ご不明な点や心配なことがありましたら、いつでも看護師にお知らせください。		